

(様式 2)

議長	局長	次長	補佐	補佐	係
森川	谷山	迫田	本村	中西	松元

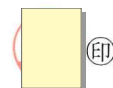


令和元年 5 月 2 7 日

始良市議会議長 森川和美 様

市民くらぶ

代表者氏名 吉村 賢一



調 査 研 究 報 告 書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日程 平成 3 1 年 4 月 2 4 日 (水)
- 2 場所 日置市伊集院町太田 3145 (株)丸山喜之助商店
講師：代表取締役・環境カウンセラー 丸山 ^{ひろつぐ} 明紀殿
講義：日置市市民福祉部市民生活課久木崎 稔係長
- 3 目的 ごみ焼却処理費の削減
生ごみ活用・食品ロス (堆肥化)
- 4 該当する政務活動費の使途項目 交通費・交際費
- 5 支出経費の内訳と金額
お土産 加治木饅頭 1,800円
ガソリン代 1,274円
出発時 走行距離 112,098km
終了時 走行距離 112,170km 差引 72 k m
- 6 参加議員氏名 吉村賢一・上村 親・湯川逸郎・峯下 洋
- 7 活動成果の概要、所見
別紙のとおり
- 8 成果物、資料等
講習ビデオ撮影・パワーポイントUSBにコピー・パンフレット

片道36^大領収証

市民くさく様

31年4月24日

★ ¥1,274-

但

上記正に領収いたしました 油代

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

〒899-5652

鹿児島県姶良市平松7276-4

株式会社 オレンジ石油

GR1018

株式会社 オレンジ
鹿児島県姶良市
TEL:0995-67-781

FAX:SS

0000

31年04月24日 16:59 受付No 147

現金会員様

4-97009-000001

0000

*

売上 現金

レギュラー

000020

* 6-1

9.17 L

@128.7

¥1180

(内ガソリン税

@53.8

¥49.5

消費税等

¥94

合計

¥1,274

5132 釣銭 1万:8726 5千:3726 2千:726

担当:小野 亨

01 00591

領収証

市民くさく様

31年4月24日

★ 一金壹千八百円也

但こけしき石代にて

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

名物 和治木饅頭 秀

責任者 新 福

鹿児島県姶良郡加治木町本

TEL 0995-62-2802

コクヨ ウケ-1048

平成 31 年 5 月 27 日

会派政務調査報告

始良市市議会市民くらぶ

代表 吉村賢一

記

1. 日時 平成 31 年 4 月 24 日 (水) 13:50~15:30
2. 場所 丸山喜之助商店
3. 講師 丸山明紀^{ひろつぐ} 代表取締役・鹿児島県環境アドバイザー (母が加治木出身)

現場研修

最初に生ごみの肥料化の工場を見学(13:50~14:20)し、説明を受けた。(一部週間環境経済新聞 2018. 10. 1・・)

堆肥化作業の処理能力は 1 か月当たり約 120t。家庭系生ごみ 80~90t/1 ヲ月を受入れ、事業系ごみとあわせ堆肥化。処理工程では、先ず目視で異物除去して生ごみを粉碎。これに酵素や戻し堆肥、竹チップを加えて混錬機にかける。次に発酵ヤードに移し、切り返しながら 2~3 週間で仕上げている。この手法の特徴は、酵素の働きで臭気が発生し辛く、発酵速度が速い。更に廃油を添加剤に使うことでたんぱく質を補い、堆肥中の微生物を活性化する。

生ごみは水切りが不十分なことが多い。水分調整(生竹の水分は 7 割もない)も兼ねて匂いにも強い竹を 4m 長さで 10 円/kg (市が+5 円補助) で購入してチップ化する。酵素を竹の中に入れると生ごみの養分になる。チップを混ぜ腐敗を防ぎ 20 日間寝かせる。追肥は 2 割程。コンビニの残り弁当容器も仕分けする。食用油も回収し、これが栄養になる

廃食用油の入っていたペットボトルは→RPF(固形燃料化)としてサーマルリサイクル

有機肥料。現在日量 4 トン。2/3 が自治会の収集。

生ごみ用ポリタンク(3 千円)は市の負担で購入し、出来た肥料は自治会や農業生産法人に無料配布している。

4. 講習: 市役所市民生活部 市民生活課環境 2 係 久木崎 稔係長
女性団体の発案で平成 24 年から賞味期限切れを対象に 50 世帯のモデル地域で始めた。

平成 27 年 生ごみ回収開始(市人口平成 21 年 5. 14 万人、30 年度 4. 82 万人)

- SDGs《Sustainable Development Goals》持続可能な開発目標

生ごみの搬出が増えると燃やせるゴミが減る。当初 50 世帯の参加→現在 12,650/22,455 世帯（年間の可燃ごみ量は H21 で 11,573t。それが H26 に 18%増の 13,693t になったが H30 には H21 程度の量に戻った）

日置市民のゴミの排出量と経費

1 日当たりゴミ排出量 750g/人日

1 人当たり年間ゴミ排出量 273.8kg/年人

1 人当たり生ごみ排出量 65.1kg/年人

1 トン当たり焼却処理料 26,887 円/t

平成 30 年度の焼却経費 328,256,521 円

日置市の食品ロス

30 年 2 月までの生ごみ回収量は 840t

うち 168t が食品ロスに該当する生ごみ

うち 22t が全く手を付けていない食品

うち 13t が食べ残しであると試算できる。

生ごみモニター回収事業参加世帯と回収量は、H30 924,820kg/12,650 世帯

県内の先進事例：大崎（日本一の多分類）、鹿屋市、さつま町（2 月から全町）

成功の秘訣は、強制的ではない、緩いやり方で始めた。→24 時間いつでも利用できる。→再生堆肥「よかんど」は現在まで約 300t を無料配布し効果実証中。

生産農家等はこの肥料で育った野菜を直販中。

生ごみ回収に参加している自治会へは、年間 5 万円を上限として自治会に 1kg/10 円の奨励金支払い。

H30 は 129 自治会に対し総額 4,764,440 円の奨励金を支払い地域の活性化に役立ちました。

H30 の 955t（食用油含む）に対し、可燃ごみも減った△272t→ピーク時から 1,618t の減額。H29 に比し 1,227t 減った。△32,990,349 円。CO2 削減は 320t。

*CO2 の 1kg は 500ml ペットボトルで約 1,000 本分の体積と同じ。4 人家族使用の約 5 日分=4,660ℓ。

燃やせるゴミの回収を週 2 から週 1 への検討。6 社。

堆肥年間生産量 145t/2 基。

全体予算：基本 1,840 万円、たい肥化処理委託料 25 円/kg、6,500 万/焼却灰（予算ベース）。6 千万が生ごみ→4 千万

タル 680 万、水切り 400 万、器材 200 万。総額 1 億 2,500 万…

費用対効果：当初運搬費 3 千万→2 千万に。

ごみ収集会社の収入は横這い（回数で扱い）、145 億円の焼却施設建設費

日置市クリーン・リサイクルセンター(40.5t×2基) 70億円かけて平成11年から稼働中。

H36から南薩広域で新ごみ処理施設稼働145億円、72.5t×2基

事業系は有料で引き取る。→クリーンセンター、(始良西部?焼却施設60~90t)

維持管理・・・蓋とブロックを結ぶ

広域ごみ処理負担金 均等割り30%、ごみの搬入実績割合70%

均等割負担 25%+人口割

現在自治会90数%参加・・・野良猫対策

好気性。嫌気性。